

科目名	作業療法研究基礎ゼミナール I		担当教員	猪股 英輔、近野 智子、坂本 俊夫、小野寺 哲夫、齋藤 久恵、秋元 美穂、井口 佳晴、星 克司、熊本 圭吾	
学科	作業療法学科		学年	3 学年	
学期	前期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>作業療法研究基礎ゼミナール I」では、作業療法研究に関する基礎を学習する。</p> <p>作業療法研究は、臨床（病院や施設で作業療法を実践すること）、教育（後輩作業療法士や学生の指導を行うこと）と並び、重要な業務の一つである。作業療法の基礎をなす作業療法概論や基礎作業について学び、さらに作業療法に関連する学問を学びつつある。今後、この学びを通して見出した作業療法の関心事から学生自身の研究テーマを探して決定することとなる。</p> <p>本ゼミナールでは、作業療法における研究の意義や目的、方法、プロセス等の基本的な事項について学習する。そして、担当教員が実践した研究の紹介から、研究テーマがどのようなものであるのかについて理解を深めるものとする。これらの学びを通して、学生は研究の概略を理解し、自らが作業療法研究に勤しむ者としての態度と知識を得ることを目標とする。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 作業療法における研究の意義と目的を説明することができる</li> <li>2. 研究疑問のタイプと研究様式の分類について説明することができる</li> <li>3. 研究の流れを述べるすることができる</li> <li>4. 研究の倫理的義務・管理的義務及び研究者の責任について説明することができる</li> </ol>

No.	テーマ		授業内容
1	研究の目的	授業内容	オリエンテーション、研究は誰が何のためにするものなのか
		予習	教科書 p4 から p 23 までを読んでおく
		復習	講義内容のまとめ
2	分野別研究 研究疑問	授業内容	分野別研究、研究疑問
		予習	教科書 p 24 から p 39 までを読んでおく
		復習	講義内容のまとめ
3	研究と倫理	授業内容	研究と倫理
		予習	教科書 p 40 から p 57 までを読んでおく
		復習	講義内容のまとめ
4	研究の種類	授業内容	研究の種類
		予習	教科書 p 62 から p 68 までを読んでおく
		復習	講義内容のまとめ
5	文献レビュー と文献研究	授業内容	文献レビューと文献研究
		予習	教科書 p 69 から p 76 までを読んでおく
		復習	講義内容のまとめ

6	調査研究	授業内容	調査研究
		予習	教科書 p 77 から p 97 までを読んでおく
		復習	講義内容のまとめ
7	実験研究	授業内容	実験研究
		予習	教科書 p 98 から p 108 までを読んでおく
		復習	講義内容のまとめ
8	事例研究： シングルシ ステムデザ イン	授業内容	事例研究：シングルシステムデザイン
		予習	教科書 p 109 から p 138 までを読んでおく
		復習	講義内容のまとめ
9	研究計画の 手順	授業内容	研究計画の手順と論文構成、研究の希望領域アンケート説明・配布
		予習	教科書 p 144 から p 162 まで読んでおく
		復習	講義内容のまとめ
10	研究と EBM の実 証	授業内容	研究と EBM の実証
		予習	教科書 p 163 から p 185 までを読んでおく
		復習	講義内容のまとめ
11	統計解析	授業内容	統計解析（量的研究）にかかわる基礎知識
		予習	教科書 p 186 から p 200 までを読んでおく
		復習	講義内容のまとめ
12	質的研究	授業内容	質的研究にかかわる基礎知識
		予習	教科書 p 201 から p 216 までを読んでおく
		復習	講義内容のまとめ
13	研究論文の 発表	授業内容	研究論文の発表と手続き
		予習	教科書 p 217 から p 232 までを読んでおく
		復習	講義内容のまとめ
14	臨床研究の 実践例と動 向	授業内容	臨床研究の実践例と動向（身体機能領域・発達過程領域）
		予習	教科書 p 236 から p 239, p 244 から p 248 までを読んでおく
		復習	講義内容のまとめ
15	臨床研究の 実践例と動 向	授業内容	臨床研究の実践例と動向（精神機能領域・高齢期領域）、研究基礎ゼミナールⅡのオリエンテーション
		予習	教科書 p 240 から p 243, p 249 から p 252 までを読んでおく
		復習	講義内容のまとめ
評価法基準	課題レポート 30%、研究計画作成 70%		
教科書	教科書：山田 孝編：作業療法研究法 第2版. 医学書院, 2021		
参考書	なし		

履修上の注意	文献検索と文献抄読などの予習課題を行った上で授業に臨むこと。討論の場では、積極的に意見を述べ、主体的に授業に参加すること。
オフィスアワー	

科目名	作業療法研究基礎ゼミナールⅡ		担当教員	猪股 英輔	
学科	作業療法学科		学年	3 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>「作業療法研究基礎ゼミナールⅡ」は「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ」の学習を継続して行う。</p> <p>研究領域は、高齢期における作業療法実践の知識をもとに、医療・介護保険サービス、認知症をもつ人と家族の生活支援、介護予防・健康増進等の地域リハビリテーション、地域における共生社会の実現に向けた挑戦的課題などに焦点を当てる。また、作業療法の理論である「人間作業モデル」や「カナダ作業遂行モデル」を基盤とする研究手法からは、理論と実践の結びつきを理解するであろう。とくに高齢期作業療法のうち、学生自身が興味をもつ領域の先行研究を調査できるように指導し、具体的な文献検索の方法や研究課題の導き方を学習する。さらに文献検索による情報収集と学生を主体とする文献抄読の演習を行い、問題解決に活用できる情報を獲得する能力を養う。</p> <p>これらの学びを通し、研究テーマの決定方法、情報収集の方法、適切な手法の選択方法、研究計画の立案方法、分析方法等研究の基本的なプロセスを学習することを目標とする。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文献の探し方と読み方を理解し、実際に文献検索と抄読を行い、文献レビューを実施できる</li> <li>2. 興味のある領域において研究疑問から研究命題を構築することができる</li> <li>3. 文献の探し方と読み方を理解し、実際に文献を読み、研究者の研究疑問、研究方法、結果、考察の流れを理解する</li> <li>4. 研究計画の立案方法、分析方法の理解</li> </ol>

No.	テーマ		内容
1	研究疑問の立て方	授業内容	オリエンテーションにより授業概要を理解する。研究疑問の立て方を学習する。
		予習	教科書 p33～34 「研究疑問を立てること」を読んでおく。
		復習	授業内容を整理してまとめる。
2	高齢期作業療法の研究例	授業内容	高齢期作業療法や地域リハビリテーションに関連する研究報告を紹介する。
		予習	高齢期リハビリテーションや高齢者の社会的問題について調べておく。
		復習	授業内容を整理して、調べたことを要点としてまとめる。
3	高齢期作業療法の研究方法	授業内容	興味・関心のある高齢期作業療法の研究テーマを調べる。
		予習	参考書①や指定した文献から、興味・関心のあるトピックや文献を見つける。
		復習	授業内容を整理して、調べたことを要点としてまとめる。
4	研究疑問・研究命題の構築	授業内容	研究疑問をまとめ、解決するための研究命題（テーマ）をつくる。
		予習	教科書 p35～39 「研究疑問を解決するには」を読んでおく。
		復習	授業内容を整理して、調べたことを要点としてまとめる。
5	文献レビュー手順の検討	授業内容	文献の探し方と読み方にしたいがい、文献レビューの手順を考える。
		予習	教科書 p62～76 「研究の種類～文献レビューと文献研究」を読んでおく。
		復習	授業内容を整理して、調べたことを要点としてまとめる。

6	文献検索と文献収集	授業内容	興味・関心のあるテーマの文献検索と文献収集を実施する。
		予習	教科書 p69～76「文献レビューと文献研究」を読んでおく。
		復習	授業内容を整理して、調べたことを要点としてまとめる。
7	文献抄読 ①	授業内容	文献検索により入手した文献を読み、研究テーマの課題を検討する。
		予習	文献検索により入手した文献をテーマごとに整理しておく。
		復習	文献検索により入手した文献の抄録を作成する。
8	文献抄読 ②	授業内容	文献検索により入手した文献を読み、研究テーマの課題を検討する。
		予習	文献検索により入手した文献をテーマごとに整理しておく。
		復習	文献検索により入手した文献の抄録を作成する。
9	研究方法の選択・決定	授業内容	研究命題の文献レビューで明らかになった課題を解決する研究方法を調べる。
		予習	教科書 p69～138「文献レビューと文献研究～事例研究」を読んでおく。
		復習	研究命題の課題解決について省察し、修正点を明らかにする。
10	研究の実施方法の検討①	授業内容	対象者や研究の実施方法（対象、場所、研究手順、分析方法など）を具体化する。
		予習	教科書 p69～138「文献レビューと文献研究～事例研究」から実施方法を検討する。
		復習	研究の実施方法について省察し、修正点を明らかにする。
11	研究の実施方法の検討②	授業内容	対象者や研究の実施方法（対象、場所、研究手順、分析方法など）を具体化する。
		予習	教科書 p69～138「文献レビューと文献研究～事例研究」から実施方法を検討する。
		復習	研究の実施方法について省察し、修正点を明らかにする。
12	研究計画立案 ①	授業内容	研究計画の工程を整理して、研究計画原案を作成する。
		予習	教科書 p144～162「研究計画の手順と論文の構成」から研究計画を検討する。
		復習	研究計画について推敲し、修正事項を整理しておく。
13	研究計画立案 ②	授業内容	研究計画の工程を整理して、研究計画原案を作成する。
		予習	教科書 p144～162「研究計画の手順と論文の構成」から研究計画を検討する。
		復習	研究計画について推敲し、修正事項を整理しておく。
14	中間発表①	授業内容	研究計画の発表を経験する。また、他者の発表から新しい知見を学ぶ。
		予習	研究計画原案から発表原稿を作成する。
		復習	発表後の質疑応答、指導コメントをもとに研究計画原案を修正する。
15	中間発表②	授業内容	研究計画の発表を経験する。また、他者の発表から新しい知見を学ぶ。
		予習	研究計画原案から発表原稿を作成する。
		復習	発表後の質疑応答、指導コメントをもとに研究計画原案を修正する。

評価法基準	課題レポート：60% 口頭発表：40%
教科書	「標準作業療法学 作業療法研究法 第2版」山田 孝 医学書院 2012年
参考書	①「高齢期領域の作業療法 第2版」山田 孝 中央法規 2016年 ②「作業療法士のための研究法入門」鎌倉矩子・他 三輪書店 1997年
履修上の注意	研究テーマの構築には、研究疑問の立て方が重要となる。研究テーマの選択は、講義で学んだ作業療法の実践モデルや事例、臨地実務実習の経験から生まれた疑問を重視する。
オフィスアワー	火曜日（授業終了後 18:00～18:30）、3-22 研究室

科目名	作業療法研究基礎ゼミナールⅡ		担当教員	近野智子	
実務経験	高齢者の急性期病院及び県立のリハビリテーションセンターに勤務し、身体障害領域における急性期・回復期のリハビリテーションに従事しました。また、更生援護施設における身体障害者・高次脳機能障害者の就労・地域生活支援に携わりました。その後教員として専門学校で勤務し、専門職大学に異動となり現在に至っています。大学勤務の傍ら週に1回病院の外來部門で、脳血管障害や難病の方を対象とした臨床に従事してきました。				
学科	作業療法学科		学年	3 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>「作業療法研究基礎ゼミナールⅡ」は「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ」の学習を継続して行う。</p> <p>研究領域は、高次脳機能障害における作業療法実践の知識をもとに、医療・介護保険サービスをはじめとして、日常生活活動、日常生活関連活動、就学・就労支援、自動車運転再開支援等の地域生活の支援などに焦点を当てる。とくに高次脳機能障害の作業療法のうち、学生自身が興味をもつ領域の先行研究を調査できるように指導し、具体的な文献検索の方法や作業療法研究領域で主に用いられる研究手法により、研究課題の導き方を学習する。さらに文献検索による情報収集と学生を主体とする文献抄読の演習を行い、問題解決に活用できる情報を獲得する能力を養う。</p> <p>これらの学びを通し、研究テーマの決定方法、情報収集の方法、適切な手法の選択方法、研究計画の立案方法、分析方法等研究の基本的なプロセスを学習することを目標とする。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.文献の探し方と読み方を理解し、実際に文献検索と抄読を行い、文献レビューを実施できる</li> <li>2.興味のある領域において研究疑問から研究命題を構築することができる</li> <li>3.文献の探し方と読み方を理解し、実際に文献を読み、研究者の研究疑問、研究方法、結果、考察の流れを理解する</li> <li>4.研究計画の立案方法、分析方法の理解</li> </ol>

No.	テーマ		内容
1	研究疑問の立て方	授業内容	オリエンテーションにより授業概要を理解する。研究疑問の立て方を学習する。
		予習	教科書 p33～34「研究疑問を立てること」を読んでおく。
		復習	授業内容を整理してまとめる。
2	高次脳機能作業療法の研究例	授業内容	高次脳機能作業療法や地域生活支援に関連する研究報告を紹介する。
		予習	高次脳機能障害の特性や生活上の課題について調べておく。
		復習	授業内容を整理して、調べたことを要点としてまとめる。
3	高次脳機能作業療法の研究方法	授業内容	興味・関心のある高次脳機能作業療法の研究テーマを調べる。
		予習	参考書①や指定した文献から、興味・関心のあるトピックや文献を見つける。
		復習	授業内容を整理して、調べたことを要点としてまとめる。
4	研究疑問・研究命題の構築	授業内容	研究疑問をまとめ、解決するための研究命題（テーマ）をつくる。
		予習	教科書 p35～39「研究疑問を解決するには」を読んでおく。
		復習	授業内容を整理して、調べたことを要点としてまとめる。

5	文献レビュー 手順の検討	授業内容	文献の探し方と読み方にしたがって、文献レビューの手順を考える。
		予習	教科書 p62～76「研究の種類～文献レビューと文献研究」を読んでおく。
		復習	授業内容を整理して、調べたことを要点としてまとめる。
6	文献検索と文 献収集	授業内容	興味・関心のあるテーマの文献検索と文献収集を実施する。
		予習	教科書 p69～76「文献レビューと文献研究」を読んでおく。
		復習	授業内容を整理して、調べたことを要点としてまとめる。
7	文献抄読 ①	授業内容	文献検索により入手した文献を読み、研究テーマの課題を検討する。
		予習	文献検索により入手した文献をテーマごとに整理しておく。
		復習	文献検索により入手した文献の抄録を作成する。
8	文献抄読 ②	授業内容	文献検索により入手した文献を読み、研究テーマの課題を検討する。
		予習	文献検索により入手した文献をテーマごとに整理しておく。
		復習	文献検索により入手した文献の抄録を作成する。
9	研究方法の選 択・決定	授業内容	研究命題の文献レビューで明らかになった課題を解決する研究方法を調べる。
		予習	教科書 p69～138「文献レビューと文献研究～事例研究」を読んでおく。
		復習	研究命題の課題解決について省察し、修正点を明らかにする。
10	研究の実施方 法の検討①	授業内容	対象者や研究の実施方法（対象、場所、研究手順、分析方法など）を具体化する。
		予習	教科書 p69～138「文献レビューと文献研究～事例研究」から実施方法を検討する。
		復習	研究の実施方法について省察し、修正点を明らかにする。
11	研究の実施方 法の検討②	授業内容	対象者や研究の実施方法（対象、場所、研究手順、分析方法など）を具体化する。
		予習	教科書 p69～138「文献レビューと文献研究～事例研究」から実施方法を検討する。
		復習	研究の実施方法について省察し、修正点を明らかにする。
12	研究計画立案 ①	授業内容	研究計画の工程を整理して、研究計画原案を作成する。
		予習	教科書 p144～162「研究計画の手順と論文の構成」から研究計画を検討する。
		復習	研究計画について推敲し、修正事項を整理しておく。
13	研究計画立案 ②	授業内容	研究計画の工程を整理して、研究計画原案を作成する。
		予習	教科書 p144～162「研究計画の手順と論文の構成」から研究計画を検討する。
		復習	研究計画について推敲し、修正事項を整理しておく。
14	中間発表①	授業内容	研究計画の発表を経験する。また、他者の発表から新しい知見を学ぶ。
		予習	研究計画原案から発表原稿を作成する。
		復習	発表後の質疑応答、指導コメントをもとに研究計画原案を修正する。
15	中間発表②	授業内容	研究計画の発表を経験する。また、他者の発表から新しい知見を学ぶ。
		予習	研究計画原案から発表原稿を作成する。
		復習	発表後の質疑応答、指導コメントをもとに研究計画原案を修正する。

評価法基準	課題レポート：60% 口頭発表：40%
教科書	山田 孝編：作業療法研究法 第2版. 医学書院, 2021

参考書	<p>①能登真一編：高次脳機能作業療法学 第2版. 医学書院, 2021</p> <p>②鎌倉矩子・他：作業療法士のための研究法入門. 三輪書店, 1997</p>
履修上の注意	<p>研究テーマは、これまで学んだ講義や臨地実務実習の経験を通して疑問に思ったこと、興味を持ったことなどから選択するとよい。この授業では、素朴な疑問から研究疑問を立てるプロセスを学び、4年次の研究につなげてほしい。</p>
オフィスアワー	<p>水曜（15：50～18：30）、3-3 研究室</p>



科目名	作業療法研究基礎ゼミナールⅡ		担当教員	坂本 俊夫	
実務家経験	担当講師は大学病院，リハビリテーションセンターの小児科外来，通園療育部門での肢体不自由児や知的障がい児などへの作業療法支援をはじめ幅広い実務経験を有しています．この実践を通して日常生活活動や遊び、学習支援などの対象者および家族支援に関連した研究活動を行っています．				
学科	作業療法学科		学年	3 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>「作業療法研究基礎ゼミナールⅡ」は、「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ」の学習を継続して行う。作業療法を科学的に考察するために必要な研究方法における基本的な理論を学習し、作業療法研究領域で主に用いられる研究手法について学習する。また様々な先行研究について文献検索による情報収集を行い、学生を主体とする文献抄読の演習を行い、問題の解決に活用できる情報を獲得する能力を養う。これらの学びを通し、研究テーマの決定方法、情報収集の方法、適切な手法の選択方法、研究計画の立案方法、分析方法等研究の基本的なプロセスを学習することを目標とする。</p> <p>様々な科目を履修する中で、継続して学生が研究テーマを構築していくことができるように、担当教員が継続して指導を行う。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.文献の探し方と読み方を理解し、実際に文献検索と抄読を行い、文献レビューを行うことができる</li> <li>2.興味のある領域において研究疑問から研究命題を構築することができる</li> <li>3.文献の探し方と読み方を理解し、実際に文献を読み、研究者の研究疑問、研究方法、結果、考察の流れを理解する</li> <li>4.研究計画の立案方法、分析方法の理解</li> </ol>

No.	テーマ		内容
1	研究疑問から研究命題の構築	授業内容	オリエンテーション： 個々の研究疑問から研究テーマを考える
		予習	教科書の解答箇所を読んでおく
		復習	授業内容のまとめ
2	研究疑問から研究命題の構築	授業内容	個々の研究疑問から研究テーマを考える
		予習	教科書の解答箇所を読んでおく
		復習	授業内容のまとめ
3	文献検索と情報収集	授業内容	研究テーマに関連した文献を検索し情報を収集する
		予習	教科書の解答箇所を読んでおく
		復習	授業内容のまとめ
4	文献検索と情報収集	授業内容	研究テーマに関連した文献からの情報を収集する
		予習	該当文献を収集しておく
		復習	授業内容のまとめ： 「文献表」の作成
5	文献検索と情報収集	授業内容	研究テーマに関連した文献からの情報を収集する
		予習	教科書の解答箇所を読んでおく
		復習	授業内容のまとめ： 「文献表」の作成

6	文献検索と 情報収集	授業内容	研究テーマに関連した文献からの情報を収集する
		予習	該当文献を収集しておく
		復習	授業内容のまとめ： 「文献表」の作成
7	文献検索と 情報収集	授業内容	研究テーマに関連した文献からの情報を収集し抄読の準備を行う
		予習	該当文献を収集しておく
		復習	授業内容のまとめ： 文献資料準備（各自印刷）と「文献表」の作成
8	文献抄読	授業内容	文献抄読
		予習	文献抄読の発表準備
		復習	授業内容のまとめ
9	研究手法に ついて	授業内容	個別研究の実施
		予習	教科書の解答箇所を読んでおく
		復習	授業内容のまとめ
10	研究計画の 立案と作成	授業内容	個別研究
		予習	教科書の解答箇所を読んでおく
		復習	授業内容のまとめ
11	研究計画の 立案と作成	授業内容	個別研究
		予習	教科書の解答箇所を読んでおく
		復習	授業内容のまとめ
12	研究計画の 立案と作成	授業内容	研究結果を分析し考察する
		予習	教科書の解答箇所を読んでおく
		復習	授業内容のまとめ
13	研究発表準 備	授業内容	研究結果を分析し考察する
		予習	教科書の解答箇所を読んでおく
		復習	授業内容のまとめ
14	研究発表準 備	授業内容	研究発表準備
		予習	発表準備
		復習	授業内容のまとめ
15	中間発表会	授業内容	研究発表
		予習	研究計画案の確認，発表準備
		復習	研究計画案の加筆修正，研究倫理審査資料の作成

評価法基準	課題レポート：60% 口頭発表：40%
教科書	教科書：山田 孝編：作業療法研究法 第2版. 医学書院，2021
参考書	授業内で随時紹介いたします
履修上の注意	文献検索と文献抄読などの予習課題を行った上で授業に臨むこと。討論の場では、積極的に意見を述べ、主体的に授業に参加すること。研究テーマは、作業療法の専門科目のみならず、展開科目を履修する中で、興味を持った内容について設定すること。
オフィスアワー	火曜（17:50～18:30）、3-10 研究室

科目名	作業療法研究基礎ゼミナールⅡ		担当教員	小野寺 哲夫	
学科	作業療法学科		学年	3 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>「作業療法研究基礎ゼミナールⅡ」は、「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ」の学習を継続して行う。作業療法研究基礎ゼミナールⅠで学習した内容を基礎知識として、学生が興味を持った領域、特に作業療法および臨床心理学/社会心理学領域、経営・組織/地域活性化研究等の研究課題において、研究疑問から研究命題を構築する過程について演習を通じて体験する。実際に研究テーマに関連する文献検索を行い、文献抄読の方法を学ぶ。また文献レビューを作成し、自身の研究テーマと研究疑問の位置づけを理解した上で研究命題を構築する過程を学ぶ。研究テーマの絞り込みや文献検索および文献抄読、研究命題の設定は、学生の発表と学生同士の討論および教員の指導の場を通じて、学生が主体的に行う。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文献の探し方と読み方を理解し、実際に文献検索と抄読を行い、文献レビューを実施できる。</li> <li>2. 興味のある領域において研究疑問から研究命題を構築することができる</li> <li>3. 文献の探し方と読み方を理解し、実際に文献を読み、研究者の研究疑問、研究方法、結果、考察の流れを理解する。</li> <li>4. 研究計画の立案方法、分析方法の理解。</li> </ol>

No.	テーマ		内容
1	コースオリエンテーション	授業内容	コースオリエンテーション、
		予習	特になし
		復習	授業内容をまとめる
2	研究テーマの検討	授業内容	研究疑問の明確化、研究テーマの検討
		予習	基礎ゼミナールⅠの「研究疑問」の授業内容の復習、
		復習	授業内容をまとめる
3	研究テーマの検討	授業内容	研究命題の検討、 研究テーマの検討
		予習	興味あるテーマを絞り、深めておく
		復習	授業内容をまとめる
4	文献検索の演習	授業内容	文献検索の演習
		予習	基礎ゼミナールⅠの「文献研究」の授業内容の復習
		復習	授業内容をまとめる
5	関連の文献収集	授業内容	関連の文献収集
		予習	基礎ゼミナールⅠの「文献研究」の授業内容の復習
		復習	授業内容をまとめる
6	文献抄読	授業内容	文献抄読
		予習	収集した文献を読んでおく
		復習	授業内容をまとめる

7	文献レビューの作成	授業内容	文献レビューの作成
		予習	文献を深く読み込む
		復習	授業内容をまとめる
8	研究疑問の検討	授業内容	研究方法の検討
		予習	基礎ゼミナールⅠの「研究方法」の授業内容の復習
		復習	授業内容をまとめる
9	研究命題の構築	授業内容	研究方法の検討
		予習	基礎ゼミナールⅠの「研究方法」の授業内容の復習
		復習	授業内容をまとめる
10	研究方法の検討	授業内容	研究結果分析方法の検討
		予習	基礎ゼミナールⅠの「研究結果の分析方法」の授業内容の復習
		復習	授業内容をまとめる
11	研究結果分析方法の検討	授業内容	研究計画の検討
		予習	基礎ゼミナールⅠの「研究計画」の授業内容の復習
		復習	授業内容をまとめる
12	研究計画の立案	授業内容	研究計画の立案
		予習	基礎ゼミナールⅠの「研究計画の方法」の授業内容の復習
		復習	授業内容をまとめる
13	研究計画の立案	授業内容	研究計画の立案
		予習	前回の指導教員の助言の確認
		復習	授業内容をまとめる
14	中間発表会への準備	授業内容	中間発表会への準備
		予習	発表案の作成
		復習	指導教員からの指摘、助言の確認
15	中間発表会	授業内容	中間発表会
		予習	発表内容の作成、パワーポイントの完成
		復習	発表会で受けた指摘、助言の確認

評価法基準	課題レポート：60% 口頭発表：40%
教科書	山田 孝編：作業療法研究法 医学書院 2021 年
参考書	イアン・クロンビー：医療専門職のための研究論文の読み方. 金剛出版, 2012. 土屋雅子他：看護・医療系研究のためのアンケート・面接調査ガイド. 診断と治療社, 2018. 近藤克則：研究の育て方～ゴールとプロセスの「見える化」. 医学書院, 2019.
履修上の注意	研究テーマは、作業療法の専門科目のみならず、基礎科目、展開科目を履修する中で、興味を持った内容について設定すること。討論や発表の場では、積極的に意見を述べ、主体的に授業に参加すること。
オフィスアワー	木曜（12:10～12:50）、研究室 4-8

科目名	作業療法研究基礎ゼミナールⅡ		担当教員	齋藤 久恵	
実務経験	大学病院の精神科医局に所属し、様々な精神疾患を抱える主に若年層の方々への急性期の作業療法、多職種連携を実施することで、退院促進支援、復学・復職・就労支援などの実践、経験を重ねてきた。その後、精神科病院でのデイケア立ち上げ、クリニックにおいて就労支援事業所の立ち上げに携わり、現在はクリニックのデイケア、併設の就労支援事業所に勤務し、成人の発達障害・精神障害者に対する生活支援、就労支援を実践している。				
学科	作業療法学科		学年	3 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>「作業療法研究基礎ゼミナールⅡ」は、「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ」の学習を継続して行う。作業療法を科学的に考察するために必要な研究方法における基本的な理論を学習し、作業療法研究領域で主に用いられる研究手法について学習する。また様々な先行研究について文献検索による情報収集を行い、学生を主体とする文献抄読の演習を行い、問題の解決に活用できる情報を獲得する能力を養う。これらの学びを通し、研究テーマの決定方法、情報収集の方法、適切な手法の選択方法、研究計画の立案方法、分析方法等研究の基本的なプロセスを学習することを目標とする。</p> <p>様々な科目を履修する中で、継続して学生が研究テーマを構築していくことができるように、担当教員が継続して指導を行う。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文献の探し方と読み方を理解し、実際に文献検索と抄読を行い、文献レビューを行うことができる</li> <li>2. 興味のある領域において研究疑問から研究命題を構築することができる</li> <li>3. 文献の探し方と読み方を理解し、実際に文献を読み、研究者の研究疑問、研究方法、結果、考察の流れを理解する</li> <li>4. 研究計画の立案方法、分析方法の理解</li> </ol>

No.	テーマ		内容
1	コースオリエンテーション	授業内容	コースオリエンテーション、
		予習	特になし
		復習	授業内容をまとめる
2	研究テーマの検討	授業内容	研究疑問の明確化、研究テーマの検討
		予習	基礎ゼミナールⅠの「研究疑問」の授業内容の復習、
		復習	授業内容をまとめる
3	研究テーマの検討	授業内容	研究命題の検討、 研究テーマの検討
		予習	興味あるテーマを絞り、深めておく
		復習	授業内容をまとめる
4	文献検索の演習	授業内容	文献検索の演習
		予習	基礎ゼミナールⅠの「文献研究」の授業内容の復習
		復習	授業内容をまとめる

5	関連の文献 収集	授業内容	関連の文献収集
		予習	基礎ゼミナールⅠの「文献研究」の授業内容の復習
		復習	授業内容をまとめる
6	文献抄読	授業内容	文献抄読
		予習	収集した文献を読んでおく
		復習	授業内容をまとめる
7	文献レビューの 作成	授業内容	文献レビューの作成
		予習	文献を深く読み込む
		復習	授業内容をまとめる
8	研究疑問の 検討	授業内容	研究方法の検討
		予習	基礎ゼミナールⅠの「研究方法」の授業内容の復習
		復習	授業内容をまとめる
9	研究命題の 構築	授業内容	研究方法の検討
		予習	基礎ゼミナールⅠの「研究方法」の授業内容の復習
		復習	授業内容をまとめる
10	研究方法の 検討	授業内容	研究結果分析方法の検討
		予習	基礎ゼミナールⅠの「研究結果の分析方法」の授業内容の復習
		復習	授業内容をまとめる
11	研究結果分 析方法の検 討	授業内容	研究計画の検討
		予習	基礎ゼミナールⅠの「研究計画」の授業内容の復習
		復習	授業内容をまとめる
12	研究計画の 立案	授業内容	研究計画の立案
		予習	基礎ゼミナールⅠの「研究計画の方法」の授業内容の復習
		復習	授業内容をまとめる
13	研究計画の 立案	授業内容	研究計画の立案
		予習	前回の指導教員の助言の確認
		復習	授業内容をまとめる
14	中間発表会 への準備	授業内容	中間発表会への準備
		予習	発表案の作成
		復習	指導教員からの指摘、助言の確認
15	中間発表会	授業内容	中間発表会
		予習	発表内容の作成、パワーポイントの完成
		復習	発表会で受けた指摘、助言の確認

評価法基準	課題レポート：60% 口頭発表：40%
教科書	山田 孝編：作業療法研究法，医学書院.2021
参考書	なし

履修上の注意	研究テーマは、作業療法の専門科目のみならず、展開科目を履修する中で、興味を持った内容について設定すること。
オフィスアワー	水曜（17:50～18:30）、3-16 研究室

科目名	作業療法研究基礎ゼミナールⅡ		担当教員	秋元 美穂	
実務経験	急性期, 生活期, 終末期までの様々な時期に, 急性期病院, 介護老人保健施設, 特別養護老人ホーム, デイケア, デイサービス, 有料老人ホーム, グループホーム, 訪問リハビリテーション, 障害者支援施設で作業療法士として経験を積みました. 多職種連携の下, チームアプローチを行うための組織づくりやシステム構築に興味を持っています.				
学科	作業療法学科		学年	3 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>「作業療法研究基礎ゼミナールⅡ」は、「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ」の学習を継続して行う。作業療法を科学的に考察するために必要な研究方法における基本的な理論を学習し、作業療法研究領域で主に用いられる研究手法について学習する。また様々な先行研究について文献検索による情報収集を行い、学生を主体とする文献抄読の演習を行い、問題の解決に活用できる情報を獲得する能力を養う。これらの学びを通し、研究テーマの決定方法、情報収集の方法、適切な手法の選択方法、研究計画の立案方法、分析方法等研究の基本的なプロセスを学習することを目標とする。</p> <p>様々な科目を履修する中で、継続して学生が研究テーマを構築していくことができるように、担当教員が継続して指導を行う。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文献の探し方と読み方を理解し、実際に文献検索と抄読を行い、文献レビューを行うことができる</li> <li>2. 興味のある領域において研究疑問から研究命題を構築することができる</li> <li>3. 文献の探し方と読み方を理解し、実際に文献を読み、研究者の研究疑問、研究方法、結果、考察の流れを理解する</li> <li>4. 研究計画の立案方法、分析方法の理解</li> </ol>

No.	テーマ		内容
1	研究疑問の立て方	授業内容	オリエンテーションにより授業概要を理解する。研究疑問の立て方を学習する。
		予習	教科書 p33～34 「研究疑問を立てること」を読んでおく。
		復習	授業内容を整理してまとめる。
2	高齢期作業療法の研究例	授業内容	高齢期作業療法や地域リハビリテーションに関連する研究報告を紹介する。
		予習	高齢期リハビリテーションや高齢者の社会的問題について調べておく。
		復習	授業内容を整理して、調べたことを要点としてまとめる。
3	高齢期作業療法の研究方法	授業内容	興味・関心のある高齢期作業療法の研究テーマを調べる。
		予習	参考書①や指定した文献から、興味・関心のあるトピックや文献を見つける。
		復習	授業内容を整理して、調べたことを要点としてまとめる。
4	研究疑問・研究命題の構築	授業内容	研究疑問をまとめ、解決するための研究命題（テーマ）をつくる。
		予習	教科書 p35～39 「研究疑問を解決するには」を読んでおく。
		復習	授業内容を整理して、調べたことを要点としてまとめる。
5	文献レビュー手順の検討	授業内容	文献の探し方と読み方にしたいが、文献レビューの手順を考える。
		予習	教科書 p62～76 「研究の類型～文献レビューと文献研究」を読んでおく。
		復習	授業内容を整理して、調べたことを要点としてまとめる。



6	文献検索と文献収集	授業内容	興味・関心のあるテーマの文献検索と文献収集を実施する。
		予習	教科書 p69～76「文献レビューと文献研究」を読んでおく。
		復習	授業内容を整理して、調べたことを要点としてまとめる。
7	文献抄読 ①	授業内容	文献検索により入手した文献を読み、研究テーマの課題を検討する。
		予習	文献検索により入手した文献をテーマごとに整理しておく。
		復習	文献検索により入手した文献の抄録を作成する。
8	文献抄読 ②	授業内容	文献検索により入手した文献を読み、研究テーマの課題を検討する。
		予習	文献検索により入手した文献をテーマごとに整理しておく。
		復習	文献検索により入手した文献の抄録を作成する。
9	研究方法の選択・決定	授業内容	研究命題の文献レビューで明らかになった課題を解決する研究方法を調べる。
		予習	教科書 p69～138「文献レビューと文献研究～事例研究」を読んでおく。
		復習	研究命題の課題解決について省察し、修正点を明らかにする。
10	研究の実施方法の検討①	授業内容	対象者や研究の実施方法（対象、場所、研究手順、分析方法など）を具体化する。
		予習	教科書 p69～138「文献レビューと文献研究～事例研究」から実施方法を検討する。
		復習	研究の実施方法について省察し、修正点を明らかにする。
11	研究の実施方法の検討②	授業内容	対象者や研究の実施方法（対象、場所、研究手順、分析方法など）を具体化する。
		予習	教科書 p69～138「文献レビューと文献研究～事例研究」から実施方法を検討する。
		復習	研究の実施方法について省察し、修正点を明らかにする。
12	研究計画立案 ①	授業内容	研究計画の工程を整理して、研究計画原案を作成する。
		予習	教科書 p144～162「研究計画の手順と論文の構成」から研究計画を検討する。
		復習	研究計画について推敲し、修正事項を整理しておく。
13	研究計画立案 ②	授業内容	研究計画の工程を整理して、研究計画原案を作成する。
		予習	教科書 p144～162「研究計画の手順と論文の構成」から研究計画を検討する。
		復習	研究計画について推敲し、修正事項を整理しておく。
14	中間発表①	授業内容	研究計画の発表を経験する。また、他者の発表から新しい知見を学ぶ。
		予習	研究計画原案から発表原稿を作成する。
		復習	発表後の質疑応答、指導コメントをもとに研究計画原案を修正する。
15	中間発表②	授業内容	研究計画の発表を経験する。また、他者の発表から新しい知見を学ぶ。
		予習	研究計画原案から発表原稿を作成する。
		復習	発表後の質疑応答、指導コメントをもとに研究計画原案を修正する。

評価法基準	課題レポート：60% 口頭発表：40%
教科書	「標準作業療法療学 作業療法研究法 第2版 第7刷」山田 孝 医学書院 2018年
参考書	「高齢期領域の作業療法 第2版」山田 孝 中央法規 2016年 「作業療法士のための研究法入門」鎌倉矩子・他 三輪書店 1997年
履修上の注意	研究テーマの構築には、研究疑問の立て方が重要となる。研究テーマの選択は、講義で学んだ作業療法の実践モデルや事例、臨地実務実習の経験から生まれた疑問を重視する。
オフィスアワー	水曜（12:10～12:50）、3-19 研究室

科目名	作業療法研究基礎ゼミナールⅡ		担当教員	井口 佳晴	
学科	作業療法学科		学年	3 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>「作業療法研究基礎ゼミナールⅡ」は「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ」の学習を継続して行う。研究領域は、近年、臨床現場に治療や介護量の軽減を目的として、ICT 機器やロボットなどが多く取り入れられている。実際に利用されている機器の特性やその効果について、文献抄読の演習を行い、問題解決に活用できる情報を獲得する能力を養う。</p> <p>これらの学びを通し、研究テーマの決定方法、情報収集の方法、適切な手法の選択方法、研究計画の立案方法、分析方法等研究の基本的なプロセスを学習することを目標とする。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文献の探し方と読み方を理解し、実際に文献検索と抄読を行い、文献レビューを実施できる。</li> <li>2. 興味のある領域において研究疑問から研究命題を構築することができる</li> <li>3. 文献の探し方と読み方を理解し、実際に文献を読み、研究者の研究疑問、研究方法、結果、考察の流れを理解する。</li> <li>4. 研究計画の立案方法、分析方法の理解。</li> </ol>

No.	テーマ		内容
1	研究疑問の立て方	授業内容	オリエンテーションにより授業概要を理解する。研究疑問の立て方を学習する。
		予習	教科書 p33～34 「研究疑問を立てること」を読んでおく。
		復習	授業内容を整理してまとめる。
2	高齢期作業療法の研究例	授業内容	ICT 機器やロボットに関連する研究報告を紹介する。
		予習	リハビリや介護に関する機器について調べておく。
		復習	授業内容を整理して、調べたことを要点としてまとめる。
3	高齢期作業療法の研究方法	授業内容	興味・関心のある研究テーマを調べる。
		予習	文献から、興味・関心のあるトピックや文献を見つける。
		復習	授業内容を整理して、調べたことを要点としてまとめる。
4	研究疑問・研究命題の構築	授業内容	研究疑問をまとめ、解決するための研究命題（テーマ）をつくる。
		予習	教科書 p35～39 「研究疑問を解決するには」を読んでおく。
		復習	授業内容を整理して、調べたことを要点としてまとめる。
5	文献レビュー手順の検討	授業内容	文献の探し方と読み方にしたい、文献レビューの手順を考える。
		予習	教科書 p62～76 「研究の種類～文献レビューと文献研究」を読んでおく。
		復習	授業内容を整理して、調べたことを要点としてまとめる。
6	文献検索と文献収集	授業内容	興味・関心のあるテーマの文献検索と文献収集を実施する。
		予習	教科書 p69～76 「文献レビューと文献研究」を読んでおく。
		復習	授業内容を整理して、調べたことを要点としてまとめる。
7	文献抄読 ①	授業内容	文献検索により入手した文献を読み、研究テーマの課題を検討する。
		予習	文献検索により入手した文献をテーマごとに整理しておく。
		復習	文献検索により入手した文献の抄録を作成する。

8	文献抄読 ②	授業内容	文献検索により入手した文献を読み、研究テーマの課題を検討する。
		予習	文献検索により入手した文献をテーマごとに整理しておく。
		復習	文献検索により入手した文献の抄録を作成する。
9	研究方法の選 択・決定	授業内容	研究命題の文献レビューで明らかになった課題を解決する研究方法を調べる。
		予習	教科書 p69～138「文献レビューと文献研究～事例研究」を読んでおく。
		復習	研究命題の課題解決について省察し、修正点を明らかにする。
10	研究の実施方 法の検討①	授業内容	対象者や研究の実施方法（対象、場所、研究手順、分析方法など）を具体化する。
		予習	教科書 p69～138「文献レビューと文献研究～事例研究」から実施方法を検討する。
		復習	研究の実施方法について省察し、修正点を明らかにする。
11	研究の実施方 法の検討②	授業内容	対象者や研究の実施方法（対象、場所、研究手順、分析方法など）を具体化する。
		予習	教科書 p69～138「文献レビューと文献研究～事例研究」から実施方法を検討する。
		復習	研究の実施方法について省察し、修正点を明らかにする。
12	研究計画立案 ①	授業内容	研究計画の工程を整理して、研究計画原案を作成する。
		予習	教科書 p144～162「研究計画の手順と論文の構成」から研究計画を検討する。
		復習	研究計画について推敲し、修正事項を整理しておく。
13	研究計画立案 ②	授業内容	研究計画の工程を整理して、研究計画原案を作成する。
		予習	教科書 p144～162「研究計画の手順と論文の構成」から研究計画を検討する。
		復習	研究計画について推敲し、修正事項を整理しておく。
14	中間発表①	授業内容	研究計画の発表を経験する。また、他者の発表から新しい知見を学ぶ。
		予習	研究計画原案から発表原稿を作成する。
		復習	発表後の質疑応答、指導コメントをもとに研究計画原案を修正する。
15	中間発表②	授業内容	研究計画の発表を経験する。また、他者の発表から新しい知見を学ぶ。
		予習	研究計画原案から発表原稿を作成する。
		復習	発表後の質疑応答、指導コメントをもとに研究計画原案を修正する。

評価法基準	課題レポート：60% 口頭発表：40%
教科書	「標準作業療法療学 作業療法研究法 第2版」山田 孝 医学書院 2012年
参考書	「作業療法士のための研究法入門」鎌倉矩子・他 三輪書店 1997年
履修上の注意	研究テーマの構築には、研究疑問の立て方が重要となる。研究テーマの選択は、講義で学んだ作業療法の実践モデルや事例、臨地実務実習の経験から生まれた疑問を重視する。
オフィスアワー	授業終了後（17:50～18:30）、3-23 研究室

科目名	作業療法研究基礎ゼミナールⅡ		担当教員	星克司	
学科	作業療法学科		学年	3 学年	
実務経験	臨床経験のほぼ全てにわたり身体障害者の作業療法に関わり、回復期等の医学的リハビリテーションを中心に脳血管障害、頸髄損傷の作業療法を経験してきた。その中で福祉用具、住環境調整などの環境因子に関わる支援に多く関わってきた。				
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>「作業療法研究基礎ゼミナールⅡ」は、「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ」の学習を継続して行う。作業療法を科学的に考察するために必要な研究方法における基本的な理論を学習し、作業療法研究領域で主に用いられる研究手法について学習する。また様々な先行研究について文献検索による情報収集を行い、学生を主体とする文献抄読の演習を行い、問題の解決に活用できる情報を獲得する能力を養う。これらの学びを通し、研究テーマの決定方法、情報収集の方法、適切な手法の選択方法、研究計画の立案方法、分析方法等研究の基本的なプロセスを学習することを目標とする。</p> <p>様々な科目を履修する中で、継続して学生が研究テーマを構築していくことができるように、担当教員が継続して指導を行う。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文献の探し方と読み方を理解し、実際に文献検索と抄読を行い、文献レビューを行うことができる</li> <li>2. 興味のある領域において研究疑問から研究命題を構築することができる</li> <li>3. 文献の探し方と読み方を理解し、実際に文献を読み、研究者の研究疑問、研究方法、結果、考察の流れを理解する</li> <li>4. 研究計画の立案方法、分析方法の理解</li> </ol>

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	作業療法研究基礎ゼミナールⅠを基礎とした研究演習について理解する
		予習	作業療法研究基礎ゼミナールⅠの内容を復習しておく
		復習	授業内容を復習する
2	研究課題 1	授業内容	研究課題の位置づけを確認する
		予習	研究課題を整理しておく
		復習	授業内容を復習する
3	研究課題 2	授業内容	研究課題の位置づけを確認する
		予習	研究課題を整理しておく
		復習	授業内容を復習する
4	研究課題 3	授業内容	研究課題と先行研究との相互関連性を学ぶ
		予習	研究課題を整理しておく
		復習	授業内容を復習する
5	研究課題 4	授業内容	研究課題と先行研究との相互関連性を学ぶ
		予習	研究課題を整理しておく
		復習	授業内容を復習する

6	研究課題 5	授業内容	研究課題の発展性について指導教員と討議する
		予習	研究課題を整理しておく
		復習	授業内容を復習する
7	研究課題 6	授業内容	研究課題の発展性について指導教員と討議する
		予習	研究課題を整理しておく
		復習	授業内容を復習する
8	研究遂行計画 1	授業内容	研究計画プランを立案
		予習	研究課題を整理しておく
		復習	授業内容を復習する
9	研究遂行計画 2	授業内容	研究計画プランを立案
		予習	研究課題を整理しておく
		復習	授業内容を復習する
10	研究遂行計画 3	授業内容	研究計画遂行の具体的な手法を検討する
		予習	研究計画を整理しておく
		復習	授業内容を復習する
11	研究遂行 1	授業内容	研究遂行に対する文献的検討を加える
		予習	研究遂行に関する文献を整理しておく
		復習	授業内容を復習する
12	研究遂行 2	授業内容	研究遂行に対する文献的検討を加える
		予習	研究遂行に関する文献を整理しておく
		復習	授業内容を復習する
13	研究遂行 3	授業内容	研究遂行に対する文献的検討を加える
		予習	研究遂行に関する文献を整理しておく
		復習	授業内容を復習する
14	研究遂行 4	授業内容	研究方法の吟味と具体性を検討する
		予習	研究遂行に関する文献を整理しておく
		復習	授業内容を復習する
15	研究実践の総括	授業内容	研究遂行について多面的に総括する意義を学ぶ
		予習	研究結果をまとめておく
		復習	卒業研究に向けて振り返りとまとめをする

評価法基準	課題レポート：60% 口頭発表：40%
教科書	教科書：山田 孝編：作業療法研究法 第2版. 医学書院, 2021
参考書	なし
履修上の注意	研究テーマは、作業療法の専門科目のみならず、展開科目を履修する中で、興味を持った内容について設定すること。
オフィスアワー	金曜（12:10～12:40）、5-6 研究室



科目名	作業療法研究基礎ゼミナールⅡ		担当教員	熊本 圭吾	
学科	作業療法学科		学年	3 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>「作業療法研究基礎ゼミナールⅡ」は、「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ」の学習を継続して行う。本ゼミナールでは、更に作業療法を科学的に研究するために必要な方法や基本的な理論を学習し、作業療法研究領域で主に用いられる研究手法について先行研究を通じて学習する。また様々な先行研究について文献検索による情報収集を行い、学生を主体とする文献抄読の演習を行い、問題の解決に活用できる情報を獲得する能力を養う。これらの学びを通し、研究テーマの決定方法、情報収集の方法、適切な研究手法の選択、研究計画の立案方法、分析方法等研究の基本的なプロセスを学習することを目標とする。 学生が研究テーマを見だし、自身の研究を構築していくことができるように、担当教員が継続して指導を行う。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文献の探し方と読み方を理解し、実際に文献検索と抄読を行い、文献レビューを実施できる。</li> <li>2. 興味のある領域において研究疑問から研究命題を構築することができる</li> <li>3. 文献の探し方と読み方を理解し、実際に文献を読み、研究者の研究疑問、研究方法、結果、考察の流れを理解する。</li> <li>4. 研究計画の立案方法、分析方法を理解する。</li> </ol>

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	この科目についてのオリエンテーションと暫定の研究テーマを考える
		予習	作業療法研究基礎ゼミナールⅠの振り返っておく
		復習	この授業の進め方についてまとめ、研究テーマを考える
2	文献検索の実際	授業内容	暫定の研究テーマに関連した文献を検索し文献検索の実際を学ぶ
		予習	教科書 p 69 から p 76 までを読んでおく
		復習	文献検索を自分でも行う
3	文献検索した文献の収集	授業内容	文献を入手し文献を読む
		予習	自分の研究テーマに沿った文献検索を行っておく
		復習	自分の研究テーマに関連した文献を入手する
4	文献の選び方	授業内容	文献の種類や読み方についての演習
		予習	文献の検索と入手
		復習	自分の研究テーマに関連した文献を入手する
5	文献の読み方	授業内容	文献の読み方を学ぶ
		予習	文献を入手しておく
		復習	読んだ文献の内容をまとめておく
6	文献抄読	授業内容	文献抄読
		予習	選んだ文献を読んでおく
		復習	読んだ文献の内容をまとめる
7	文献レビュー	授業内容	文献をレビューする

		予習	レビューする文献を読んでおく
		復習	他の文献を読む
8	研究テーマと 研究課題の検 討	授業内容	研究テーマと研究課題（研究疑問）を検討する
		予習	基礎ゼミナールⅠの「研究疑問」の内容を復習しておく
		復習	自分の研究課題（研究疑問）を考える
9	研究課題立案	授業内容	研究計画に向け研究課題（研究疑問）を検討する
		予習	前回の授業内容を復習し研究課題を考えておく
		復習	授業の内容をまとめる
10	研究方法の検 討	授業内容	研究方法を検討する
		予習	教科書 p.62 から p.138 までを読みなおしておく
		復習	自分の研究で採用する研究方法を考える
11	研究結果の分 析方法の検討	授業内容	選択した研究方法に適した分析方法を検討する
		予習	研究方法について復習しておく
		復習	研究方法と結果の分析方法についてまとめる
12	研究計画の立 案	授業内容	研究計画を立案する
		予習	基礎ゼミナールⅠの「研究計画の手順」の内容を復習しておく
		復習	授業の内容をまとめる
13	研究計画の検 討	授業内容	立案した研究計画について倫理的配慮を含め検討する
		予習	自分の研究計画についてまとめておく
		復習	助言・指摘を踏まえ研究計画を改善する
14	中間発表の準 備	授業内容	研究計画までを発表する準備を行う
		予習	発表する研究計画をまとめておく
		復習	発表の練習をしておく
15	中間発表会	授業内容	研究計画の発表
		予習	発表の準備
		復習	発表会での指摘・助言を検討し研究計画を改善する

評価法基準	課題レポート：60% 口頭発表：40%
教科書	山田 孝編：作業療法研究法 医学書院 2021 年
参考書	必要に応じて指示する
履修上の注意	研究テーマは作業療法に限らず、展開科目等を履修する中で興味を持った内容でも、授業内で文献を読んで検討することができる。個々の研究の内容や進捗状況に応じ授業内容を変更する場合がある。
オフィスアワー	授業前後（授業後は 18:30 まで）



科目名	作業療法研究卒業ゼミナール I		担当教員	猪股 英輔	
学科	作業療法学科		学年	4 学年	
学期	前期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>「作業療法研究卒業ゼミナール I」は、「作業療法研究基礎ゼミナール I・II」から引き続いて、作業療法を科学的に考察するために必要な研究方法について、より実践的に学習を進める。これまで継続的に検討してきた学生自身の研究テーマの策定や研究の意義の検討・確認、研究計画の立案、文献検索等の情報収集、データ収集、結果の整理、統計学的手法やその他の方法による分析・考察等を演習し、作業療法理論や隣接領域の知識に基づき作業療法研究を実践する。</p> <p>この実践の学びを通して、統計学的分析やその他の方法による分析により明らかにできること、研究の限界、適切な分析方法の選択等を実践できる能力を養い、学生が科学的な思考能力を身につけられるように授業を進める。最終的には、これらの演習を通して、研究計画書を作成し、研究手順を実際に行い、作業療法研究を実践できることを目標とする。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究テーマから研究命題を立てることができる</li> <li>2. 研究計画を立てることができる</li> <li>3. 研究計画に沿って研究を実施することができる</li> <li>4. 研究倫理に基づいて、適正な手続きを行うことができる</li> </ol>

授業内容	
<p>作業療法研究卒業ゼミナール I・II は、「作業療法研究基礎ゼミナール I・2」で学習した研究に関する知識と技能を活用して、自身の研究テーマの中から研究命題を明確にし、研究計画を立て、それを実施し、その研究内容を論文にまとめ、発表を行い、一連の研究の過程を体験することを目標とする。</p> <p>本科目では、研究命題の設定から研究計画を中心に実践するが、いずれの過程においても、少人数のゼミナール形式での学習と指導を行う。また、研究倫理に基づく適正な手続きについて学習し、研究者として求められる倫理的態度や行動を身につける。</p>	

評価法基準	<p>課題レポート：20%</p> <p>口頭発表：10%</p> <p>研究計画書作成：70%</p>
教科書	「標準作業療法療学 作業療法研究法 第2版」山田 孝 医学書院 2012年
参考書	<p>「作業療法士のための研究法入門」鎌倉 矩子・他 三輪書店 1997年</p> <p>その他、研究目的や方法に沿って授業で紹介する。</p>
履修上の注意	研究を進めるにあたって、スケジュール管理は教員と相談の上、各自が責任を持って行うこと。討論の場では、積極的に意見を述べ、主体的に授業に参加すること。
オフィスアワー	講義時間の前後 30 分、3-22 研究室

科目名	作業療法研究卒業ゼミナール I		担当教員	近野智子	
学科	作業療法学科		学年	4 学年	
学期	前期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>「作業療法研究卒業ゼミナール I」は、「作業療法研究基礎ゼミナール I・II」から引き続いて、作業療法を科学的に考察するために必要な研究方法について、より実践的に学習を進める。これまで継続的に検討してきた学生自身の研究テーマの策定や研究の意義の検討・確認、研究計画の立案、文献検索等の情報収集、データ収集、結果の整理、統計学的手法やその他の方法による分析・考察等を演習し、作業療法研究を実践する。この実践の学びを通して、統計学的分析やその他の方法による分析により明らかに出来ることとその限界、適切な分析方法の選択等を実践できる能力を養い、学生が科学的な思考能力を身につけられるように授業を進める。最終的には、これらの演習を通して、研究計画書を作成し、研究手順を実際に行い、作業療法研究を実践できることを目標とする。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究テーマから研究命題を立てることができる</li> <li>2. 研究計画を立てることができる</li> <li>3. 研究計画に沿って研究を実施することができる</li> <li>4. 研究倫理に基づいて、適正な手続きを行うことができる</li> </ol>

授業内容	
<p>作業療法研究卒業ゼミナール I・II は、「作業療法研究基礎ゼミナール I・II」で学習した研究に関する知識と技能を活用して、自身の研究テーマの中から研究命題を明確にし、研究計画を立て、それを実施し、その研究内容を論文にまとめ、発表を行い、一連の研究の過程を体験することを目標とする。本科目では、研究命題の設定から研究計画を中心に実践するが、いずれの過程においても、少人数のゼミナール形式での学習と指導を行う。また、研究倫理に基づく適正な手続きについて学習し、研究者として求められる倫理的態度や行動を身につける。</p>	
授業内容	
<p>作業療法研究卒業ゼミナール I・II は、「作業療法研究基礎ゼミナール I・II」で学習した研究に関する知識と技能を活用して、自身の研究テーマの中から研究命題を明確にし、研究計画を立て、それを実施し、その研究内容を論文にまとめ、発表を行い、一連の研究の過程を体験することを目標とする。本科目では、研究命題の設定から研究計画を中心に実践するが、いずれの過程においても、少人数のゼミナール形式での学習と指導を行う。また、研究倫理に基づく適正な手続きについて学習し、研究者として求められる倫理的態度や行動を身につける。</p>	

評価法基準	<p>課題レポート：30%</p> <p>研究計画書作成：70%</p>
-------	--------------------------------------

教科書・参考書	教科書：山田 孝編：作業療法研究法. 医学書院, 2021.
履修上の注意	研究を進めるにあたって、スケジュール管理は教員と相談の上、各自が責任を持って行うこと。討論の場では、積極的に意見を述べ、主体的に授業に参加すること。

科目名	作業療法研究卒業ゼミナールⅠ		担当教員	坂本 俊夫	
学科	作業療法学科		学年	4 学年	
学期	前期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

実務家経験	担当講師は大学病院, リハビリテーションセンターの小児科外来, 通園療育部門での肢体不自由児や知的障がい児などへの作業療法支援をはじめ幅広い実務経験を有しています. この実践を通して日常生活活動や遊び, 学習支援などの対象者および家族支援に関連した研究活動を行っています.
授業概要	「作業療法研究卒業ゼミナールⅠ」は, 「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」から引き続いて, 作業療法を科学的に考察するために必要な研究方法について, より実践的に学習を進める. これまで継続的に検討してきた学生自身の研究テーマの策定や研究の意義の検討・確認, 研究計画の立案, 文献検索等の情報収集, データ収集, 結果の整理, 統計学的手法やその他の方法による分析・考察等を演習し, 作業療法研究を実践する. この実践の学びを通して, 統計学的分析やその他の方法による分析により明らかに出来ることとその限界, 適切な分析方法の選択等を実践できる能力を養い, 学生が科学的な思考能力を身につけられるように授業を進める. 最終的には, これらの演習を通して, 研究計画書を作成し, 研究手順を実際に行い, 作業療法研究を実践できることを目標とする.
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究テーマから研究命題を立てることができる</li> <li>2. 研究計画を立てることができる</li> <li>3. 研究計画に沿って研究を実施することができる</li> <li>4. 研究倫理に基づいて, 適正な手続きを行うことができる</li> </ol>

授業内容			
1	オリエンテーション	授業内容	オリエンテーション: 個々の研究テーマおよび研究実施計画の確認
		予習	教科書の解答箇所を読んでおく
		復習	授業内容のまとめ
2	研究実施	授業内容	個々の研究の実施
		予習	研究の予行練習
		復習	授業内容のまとめ
3	研究実施	授業内容	個々の研究の実施
		予習	研究の予行練習
		復習	授業内容のまとめ
4	研究実施	授業内容	個々の研究の実施
		予習	研究の予行練習
		復習	授業内容のまとめ
5	研究実習	授業内容	個々の研究の実施
		予習	研究の予行練習
		復習	授業内容のまとめ
6	研究実施	授業内容	研究テーマに関連した文献からの情報を収集する
		予習	該当文献を収集しておく

		復習	授業内容のまとめ： 「文献表」の作成
7	研究実施	授業内容	個々の研究の実施
		予習	研究の予行練習
		復習	授業内容のまとめ
8	中間報告会	授業内容	中間報告会
		予習	文献抄読の発表準備
		復習	授業内容のまとめ
9	研究実施	授業内容	授業内容
		予習	予習
		復習	授業内容
10	研究実施	授業内容	授業内容
		予習	予習
		復習	授業内容
11	研究実施	授業内容	授業内容
		予習	予習
		復習	授業内容
12	研究実施	授業内容	研究結果を分析し考察する
		予習	教科書の解答箇所を読んでおく
		復習	授業内容のまとめ
13	研究発表準備	授業内容	研究結果を分析し考察する
		予習	教科書の解答箇所を読んでおく
		復習	授業内容のまとめ
14	研究発表準備	授業内容	研究発表準備
		予習	発表準備
		復習	授業内容のまとめ
15	中間発表会	授業内容	研究発表
		予習	研究計画案の確認，発表準備
		復習	研究計画案の加筆修正，研究倫理審査資料の作成

評価法基準	課題レポート：30% 研究計画書作成：70%
教科書	教科書：山田 孝編：作業療法研究法 医学書院 2021
履修上の注意	研究を進めるにあたって、スケジュール管理は教員と相談の上、各自が責任を持って行うこと。 討論の場では、積極的に意見を述べ、主体的に授業に参加すること。
オフィスアワー	

科目名	作業療法研究卒業ゼミナール I		担当教員	齋藤 久恵	
学科	作業療法学科		学年	4 学年	
学期	前期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>作業療法研究卒業ゼミナール I」は、「作業療法研究基礎ゼミナール I・II」から引き続いて、作業療法を科学的に考察するために必要な研究方法について、より実践的に学習を進める。これまで継続的に検討してきた学生自身の研究テーマの策定や研究の意義の検討・確認、研究計画の立案、文献検索等の情報収集、データ収集、結果の整理、統計学的手法やその他の方法による分析・考察等を演習し、作業療法研究を実践する。この実践の学びを通して、統計学的分析やその他の方法による分析により明らかに出来ることとその限界、適切な分析方法の選択等を実践できる能力を養い、学生が科学的な思考能力を身につけられるように授業を進める。最終的には、これらの演習を通して、研究計画書を作成し、研究手順を実際に行い、作業療法研究を実践できることを目標とする。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究テーマから研究命題を立てることができる</li> <li>2. 研究計画を立てることができる</li> <li>3. 研究計画に沿って研究を実施することができる</li> <li>4. 研究倫理に基づいて、適正な手続きを行うことができる</li> </ol>

授業内容	
<p>作業療法研究卒業ゼミナール I・IIは、「作業療法研究基礎ゼミナール I・II」で学習した研究に関する知識と技能を活用して、自身の研究テーマの中から研究命題を明確にし、研究計画を立て、それを実施し、その研究内容を論文にまとめ、発表を行い、一連の研究の過程を体験することを目標とする。本科目では、研究命題の設定から研究計画を中心に実践するが、いずれの過程においても、少人数のゼミナール形式での学習と指導を行う。また、研究倫理に基づく適正な手続きについて学習し、研究者として求められる倫理的態度や行動を身につける。</p>	

評価法基準	<p>課題レポート：30%</p> <p>研究計画書作成：70%</p>
教科書	教科書：山田 孝編：作業療法研究法.医学書院、2021
参考書	
履修上の注意	<p>研究を進めるにあたって、スケジュール管理は教員と相談の上、各自が責任を持って行うこと。討論の場では、積極的に意見を述べ、主体的に授業に参加すること。</p>
オフィスアワー	水曜日 12 時 10 分から 13 時



科目名	作業療法研究卒業ゼミナールⅠ		担当教員	秋元 美穂	
学科	作業療法学科		学年	4 学年	
学期	前期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>「作業療法研究卒業ゼミナールⅠ」は、「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」から引き続いて、作業療法を科学的に考察するために必要な研究方法について、より実践的に学習を進める。これまで継続的に検討してきた学生自身の研究テーマの策定や研究の意義の検討・確認、研究計画の立案、文献検索等の情報収集、データ収集、結果の整理、統計学的手法やその他の方法による分析・考察等を演習し、作業療法研究を実践する。この実践の学びを通して、統計学的分析やその他の方法による分析により明らかに出来ることとその限界、適切な分析方法の選択等を実践できる能力を養い、学生が科学的な思考能力を身につけられるように授業を進める。最終的には、これらの演習を通して、研究計画書を作成し、研究手順を実際に行い、作業療法研究を実践できることを目標とする。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究テーマから研究命題を立てることができる</li> <li>2. 研究計画を立てることができる</li> <li>3. 研究計画に沿って研究を実施することができる</li> <li>4. 研究倫理に基づいて、適正な手続きを行うことができる</li> </ol>

授業内容	
<p>作業療法研究卒業ゼミナールⅠ・Ⅱは、「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」で学習した研究に関する知識と技能を活用して、自身の研究テーマの中から研究命題を明確にし、研究計画を立て、それを実施し、その研究内容を論文にまとめ、発表を行い、一連の研究の過程を体験することを目標とする。本科目では、研究命題の設定から研究計画を中心に実践するが、いずれの過程においても、少人数のゼミナール形式での学習と指導を行う。また、研究倫理に基づく適正な手続きについて学習し、研究者として求められる倫理的態度や行動を身につける。</p>	

評価法基準	<p>課題レポート：20%</p> <p>口頭発表：10%</p> <p>研究計画書作成：70%</p>
教科書	「標準作業療法療学 作業療法研究法 第2版」山田 孝 医学書院 2018年第7刷
参考書	研究を進めるにあたって、スケジュール管理は教員と相談の上、各自が責任を持って行うこと。討論の場では、積極的に意見を述べ、主体的に授業に参加すること。
履修上の注意	
オフィスアワー	



科目名	作業療法研究卒業ゼミナールⅠ		担当教員	作業療法学科専任教員	
学科	作業療法学科		学年	4 学年	
学期	前期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>「作業療法研究卒業ゼミナールⅠ」は、「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」から引き続いて、作業療法を科学的に考察するために必要な研究方法について、より実践的に学習を進める。これまで継続的に検討してきた学生自身の研究テーマの策定や研究の意義の検討・確認、研究計画の立案、文献検索等の情報収集、データ収集、結果の整理、統計学的手法やその他の方法による分析・考察等を演習し、作業療法研究を実践する。この実践の学びを通して、統計学的分析やその他の方法による分析により明らかに出来ることとその限界、適切な分析方法の選択等を実践できる能力を養い、学生が科学的な思考能力を身につけられるように授業を進める。最終的には、これらの演習を通して、研究計画書を作成し、研究手順を実際に行い、作業療法研究を実践できることを目標とする。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究テーマから研究命題を立てることができる</li> <li>2. 研究計画を立てることができる</li> <li>3. 研究計画に沿って研究を実施することができる</li> <li>4. 研究倫理に基づいて、適正な手続きを行うことができる</li> </ol>

授業内容	
<p>作業療法研究卒業ゼミナールⅠ・Ⅱは、「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」で学習した研究に関する知識と技能を活用して、自身の研究テーマの中から研究命題を明確にし、研究計画を立て、それを実施し、その研究内容を論文にまとめ、発表を行い、一連の研究の過程を体験することを目標とする。本科目では、研究命題の設定から研究計画を中心に実践するが、いずれの過程においても、少人数のゼミナール形式での学習と指導を行う。また、研究倫理に基づく適正な手続きについて学習し、研究者として求められる倫理的態度や行動を身につける。</p>	
授業内容	
<p>作業療法研究卒業ゼミナールⅠ・Ⅱは、「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」で学習した研究に関する知識と技能を活用して、自身の研究テーマの中から研究命題を明確にし、研究計画を立て、それを実施し、その研究内容を論文にまとめ、発表を行い、一連の研究の過程を体験することを目標とする。本科目では、研究命題の設定から研究計画を中心に実践するが、いずれの過程においても、少人数のゼミナール形式での学習と指導を行う。また、研究倫理に基づく適正な手続きについて学習し、研究者として求められる倫理的態度や行動を身につける。</p>	

評価法基準	<p>課題レポート：20%</p> <p>口頭発表：10%</p> <p>研究計画書作成：70%</p>
-------	--

教科書・参考書	教科書：鎌倉矩子他：作業療法士のための研究法入門. 三輪書店, 1997.
履修上の注意	研究を進めるにあたって、スケジュール管理は教員と相談の上、各自が責任を持って行うこと。討論の場では、積極的に意見を述べ、主体的に授業に参加すること。

科目名	作業療法研究卒業ゼミナール I		担当教員	星 克司	
学科	作業療法学科		学年	4 学年	
学期	前期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>「作業療法研究卒業ゼミナール I」は、「作業療法研究基礎ゼミナール I・II」から引き続いて、作業療法を科学的に考察するために必要な研究方法について、より実践的に学習を進める。これまで継続的に検討してきた学生自身の研究テーマの策定や研究の意義の検討・確認、研究計画の立案、文献検索等の情報収集、データ収集、結果の整理、統計学的手法やその他の方法による分析・考察等を演習し、作業療法研究を実践する。この実践の学びを通して、統計学的分析やその他の方法による分析により明らかに出来ることとその限界、適切な分析方法の選択等を実践できる能力を養い、学生が科学的な思考能力を身につけられるように授業を進める。最終的には、これらの演習を通して、研究計画書を作成し、研究手順を実際に行い、作業療法研究を実践できることを目標とする。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究テーマから研究命題を立てることができる</li> <li>2. 研究計画を立てることができる</li> <li>3. 研究計画に沿って研究を実施することができる</li> <li>4. 研究倫理に基づいて、適正な手続きを行うことができる</li> </ol>

授業内容	
<p>作業療法研究卒業ゼミナール I・II は、「作業療法研究基礎ゼミナール I・II」で学習した研究に関する知識と技能を活用して、自身の研究テーマの中から研究命題を明確にし、研究計画を立て、それを実施し、その研究内容を論文にまとめ、発表を行い、一連の研究の過程を体験することを目標とする。本科目では、研究命題の設定から研究計画を中心に実践するが、いずれの過程においても、少人数のゼミナール形式での学習と指導を行う。また、研究倫理に基づく適正な手続きについて学習し、研究者として求められる倫理的態度や行動を身につける。</p>	

評価法基準	<p>課題レポート：20%</p> <p>口頭発表：10%</p> <p>研究計画書作成：70%</p>
教科書・参考書	<p>教科書：山田 孝編：作業療法研究法 第2版. 医学書院, 2021</p> <p>参考書：鎌倉矩子他：作業療法士のための研究法入門. 三輪書店, 1997.</p>
履修上の注意	<p>研究を進めるにあたって、スケジュール管理は教員と相談の上、各自が責任を持って行うこと。討論の場では、積極的に意見を述べ、主体的に授業に参加すること。</p>
オフィスアワー	

科目名	作業療法研究卒業ゼミナールⅠ		担当教員	作業療法学科専任教員	
学科	作業療法学科		学年	4 学年	
学期	前期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>「作業療法研究卒業ゼミナールⅠ」は、「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」から引き続いて、作業療法を科学的に考察するために必要な研究方法について、より実践的に学習を進める。これまで継続的に検討してきた学生自身の研究テーマの策定や研究の意義の検討・確認、研究計画の立案、文献検索等の情報収集、データ収集、結果の整理、統計学的手法やその他の方法による分析・考察等を演習し、作業療法研究を実践する。この実践の学びを通して、統計学的分析やその他の方法による分析により明らかに出来ることとその限界、適切な分析方法の選択等を実践できる能力を養い、学生が科学的な思考能力を身につけられるように授業を進める。最終的には、これらの演習を通して、研究計画書を作成し、研究手順を実際に行い、作業療法研究を実践できることを目標とする。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究テーマから研究命題を立てることができる</li> <li>2. 研究計画を立てることができる</li> <li>3. 研究計画に沿って研究を実施することができる</li> <li>4. 研究倫理に基づいて、適正な手続きを行うことができる</li> </ol>

授業内容	
<p>作業療法研究卒業ゼミナールⅠ・Ⅱは、「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」で学習した研究に関する知識と技能を活用して、自身の研究テーマの中から研究命題を明確にし、研究計画を立て、それを実施し、その研究内容を論文にまとめ、発表を行い、一連の研究の過程を体験することを目標とする。本科目では、研究命題の設定から研究計画を中心に実践するが、いずれの過程においても、少人数のゼミナール形式での学習と指導を行う。また、研究倫理に基づく適正な手続きについて学習し、研究者として求められる倫理的態度や行動を身につける。</p>	
授業内容	
<p>作業療法研究卒業ゼミナールⅠ・Ⅱは、「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」で学習した研究に関する知識と技能を活用して、自身の研究テーマの中から研究命題を明確にし、研究計画を立て、それを実施し、その研究内容を論文にまとめ、発表を行い、一連の研究の過程を体験することを目標とする。本科目では、研究命題の設定から研究計画を中心に実践するが、いずれの過程においても、少人数のゼミナール形式での学習と指導を行う。また、研究倫理に基づく適正な手続きについて学習し、研究者として求められる倫理的態度や行動を身につける。</p>	

評価法基準	<p>課題レポート：20%</p> <p>口頭発表：10%</p> <p>研究計画書作成：70%</p>
-------	--

教科書・参考書	教科書：山田孝編：標準作業療法学専門分野 作業療法研究第2版. 医学書院, 2012
履修上の注意	研究を進めるにあたって、スケジュール管理は教員と相談の上、各自が責任を持って行うこと。討論の場では、積極的に意見を述べ、主体的に授業に参加すること。

科目名	作業療法研究卒業ゼミナール I		担当教員	里村 恵子	
学科	作業療法学科		学年	4 学年	
学期	前期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>作業療法研究卒業ゼミナール I」は、「作業療法研究基礎ゼミナール I・II」から引き続いて、作業療法を科学的に考察するために必要な研究方法について、より実践的に学習を進める。これまで継続的に検討してきた学生自身の研究テーマの策定や研究の意義の検討・確認、研究計画の立案、文献検索等の情報収集、データ収集、結果の整理、統計学的手法やその他の方法による分析・考察等を演習し、作業療法研究を実践する。この実践の学びを通して、統計学的分析やその他の方法による分析により明らかに出来ることとその限界、適切な分析方法の選択等を実践できる能力を養い、学生が科学的な思考能力を身につけられるように授業を進める。最終的には、これらの演習を通して、研究計画書を作成し、研究手順を実際に行い、作業療法研究を実践できることを目標とする。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究テーマから研究命題を立てることができる</li> <li>2. 研究計画を立てることができる</li> <li>3. 研究計画に沿って研究を実施することができる</li> <li>4. 研究倫理に基づいて、適正な手続きを行うことができる</li> </ol>

授業内容	
<p>作業療法研究卒業ゼミナール I・IIは、「作業療法研究基礎ゼミナール I・II」で学習した研究に関する知識と技能を活用して、自身の研究テーマの中から研究命題を明確にし、研究計画を立て、それを実施し、その研究内容を論文にまとめ、発表を行い、一連の研究の過程を体験することを目標とする。本科目では、研究命題の設定から研究計画を中心に実践するが、いずれの過程においても、少人数のゼミナール形式での学習と指導を行う。また、研究倫理に基づく適正な手続きについて学習し、研究者として求められる倫理的態度や行動を身につける。</p>	

評価法基準	<p>課題レポート：30%</p> <p>研究計画書作成：70%</p>
教科書	教科書：山田 孝編：作業療法研究法.医学書院、2021
参考書	
履修上の注意	<p>研究を進めるにあたって、スケジュール管理は教員と相談の上、各自が責任を持って行うこと。討論の場では、積極的に意見を述べ、主体的に授業に参加すること。</p>
オフィスアワー	水曜日 12 時 10 分から 13 時

科目名	作業療法研究卒業ゼミナールⅡ		担当教員	猪股 英輔	
学科	作業療法学科		学年	4 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>「作業療法研究卒業ゼミナールⅡ」は、「作業療法研究卒業ゼミナールⅠ」に引き続き、作業療法諸領域における課題を、科学的に考察するために必要な研究方法について、より実践的に学習を進める。これまで継続的に検討してきた学生自身の研究テーマ・研究計画書に沿って、その研究を実践し、結果の考察等を行い、論文を作成し、発表を行う。これらの一連の研究過程の学びを通して課題解決能力を高めるための思考過程とその手法を学ぶと共に、研究論文として簡潔にまとめる知識及び効果的なプレゼンテーションの方法を身につけ、さらに、自己の研究課程や結果だけでなく、他者の研究内容を共有することで、幅広く知見を収集できることを目標とする。また、研究者として求められる倫理観や倫理的配慮に伴う適正な手続きの方法についても学習する。</p> <p>最終的に、学生が、本ゼミナールの学習を通して、卒業後も研究を実践し、科学的な視点から課題解決にあたり、社会に貢献できる素養を身につけることを期待する。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究計画に沿って研究を実施することができる</li> <li>2. 研究内容を論文にまとめることができる</li> <li>3. 研究内容を学会発表形式で発表することができる</li> <li>4. 研究倫理に基づいて、適正な手続きを行うことができる</li> <li>5. 科学的視点から、課題を解決することができる</li> </ol>

授業内容	
<p>作業療法研究卒業ゼミナールⅡは、「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」および「作業療法研究卒業ゼミナールⅠ」で学習した研究に関する知識と技能を活用して、研究計画に基づいて研究を実施し、その研究内容を論文にまとめ、学会発表形式で研究発表を行い、一連の研究の過程を体験することを目標とする。また、研究倫理に基づく適正な手続きを行い、研究者として求められる倫理的態度や行動について学習する。研究発表では、研究発表のための手続きや発表方法を実践的に学び、プレゼンテーション技能の向上を図る。また、他者の発表を聴くことで、異なる研究テーマや研究方法について共有し、研究に関する幅広い知見を得ることができるようにする。</p>	

評価法基準	<p>研究論文作成：60%</p> <p>研究発表用レジメ：20%</p> <p>発表用パワーポイント：20%</p>
教科書	「標準作業療法療学 作業療法研究法 第2版」山田 孝 医学書院 2012年
参考書	<p>「作業療法士のための研究法入門」鎌倉 矩子・他 三輪書店 1997年</p> <p>その他、研究目的や方法に沿って授業で紹介する。</p>
履修上の注意	研究を進めるにあたって、スケジュール管理は教員と相談の上、各自が責任を持って行うこと。討論の場では、積極的に意見を述べ、主体的に授業に参加すること。
オフィスアワー	講義時間の前後 30分、3-22 研究室

科目名	作業療法研究卒業ゼミナールⅡ		担当教員	近野智子	
学科	作業療法学科		学年	4 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>「作業療法研究卒業ゼミナールⅡ」は、「作業療法研究卒業ゼミナールⅠ」に引き続き、作業療法諸領域における課題を、科学的に考察するために必要な研究方法について、より実践的に学習を進める。これまで継続的に検討してきた学生自身の研究テーマ・研究計画書に沿って、その研究を実践し、結果の考察等を行い、論文を作成し、発表を行う。これらの一連の研究過程の学びを通して課題解決能力を高めるための思考過程とその手法を学ぶと共に、研究論文として簡潔にまとめる知識及び効果的なプレゼンテーションの方法を身につけ、さらに、自己の研究課程や結果だけでなく、他者の研究内容を共有することで、幅広く知見を収集できることを目標とする。また、研究者として求められる倫理観や倫理的配慮に伴う適正な手続きの方法についても学習する。</p> <p>最終的に、学生が、本ゼミナールの学習を通して、卒業後も研究を実践し、科学的な視点から課題解決にあたり、社会に貢献できる素養を身につけることを期待する。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究計画に沿って研究を実施することができる</li> <li>2. 研究内容を論文にまとめることができる</li> <li>3. 研究内容を学会発表形式で発表することができる</li> <li>4. 研究倫理に基づいて、適正な手続きを行うことができる</li> <li>5. 科学的視点から、課題を解決することができる</li> </ol>

授業内容	
<p>作業療法研究卒業ゼミナールⅡは、「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」および「作業療法研究卒業ゼミナールⅠ」で学習した研究に関する知識と技能を活用して、研究計画に基づいて研究を実施し、その研究内容を論文にまとめ、学会発表形式で研究発表を行い、一連の研究の過程を体験することを目標とする。また、研究倫理に基づく適正な手続きを行い、研究者として求められる倫理的態度や行動について学習する。研究発表では、研究発表のための手続きや発表方法を実践的に学び、プレゼンテーション技能の向上を図る。また、他者の発表を聴くことで、異なる研究テーマや研究方法について共有し、研究に関する幅広い知見を得ることができるようになる。</p>	

評価法基準	<p>研究論文作成：60%</p> <p>研究発表用レジメ：20%</p> <p>発表用パワーポイント：20%</p>
教科書・参考書	教科書：山田 孝編：作業療法研究法. 医学書院, 2021.
履修上の注意	研究を進めるにあたって、スケジュール管理は教員と相談の上、各自が責任を持って行うこと。討論の場では、積極的に意見を述べ、主体的に授業に参加すること。





科目名	作業療法研究卒業ゼミナールⅡ		担当教員	坂本 俊夫	
学科	作業療法学科		学年	4 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

実務家経験	担当講師は大学病院, リハビリテーションセンターの小児科外来, 通園療育部門での肢体不自由児や知的障がい児などへの作業療法支援をはじめ幅広い実務経験を有しています。この実践を通して日常生活活動や遊び、学習支援などの対象者および家族支援に関連した研究活動を行っています。
-------	--

授業概要	<p>「作業療法研究卒業ゼミナールⅡ」は、「作業療法研究卒業ゼミナールⅠ」に引き続き、作業療法諸領域における課題を、科学的に考察するために必要な研究方法について、より実践的に学習を進める。これまで継続的に検討してきた学生自身の研究テーマ・研究計画書に沿って、その研究を実践し、結果の考察等を行い、論文を作成し、発表を行う。これらの一連の研究過程の学びを通して課題解決能力を高めるための思考過程とその手法を学ぶと共に、研究論文として簡潔にまとめる知識及び効果的なプレゼンテーションの方法を身につけ、さらに、自己の研究課程や結果だけでなく、他者の研究内容を共有することで、幅広く知見を収集できることを目標とする。また、研究者として求められる倫理観や倫理的配慮に伴う適正な手続きの方法についても学習する。</p> <p>最終的に、学生が、本ゼミナールの学習を通して、卒業後も研究を実践し、科学的な視点から課題解決にあたり、社会に貢献できる素養を身につけることを期待する。</p>
------	--

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究計画に沿って研究を実施することができる</li> <li>2. 研究内容を論文にまとめることができる</li> <li>3. 研究内容を学会発表形式で発表することができる</li> <li>4. 研究倫理に基づいて、適正な手続きを行うことができる</li> <li>5. 科学的視点から、課題を解決することができる</li> </ol>
------	--

授業内容	
<p>作業療法研究卒業ゼミナールⅡは、「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」および「作業療法研究卒業ゼミナールⅠ」で学習した研究に関する知識と技能を活用して、研究計画に基づいて研究を実施し、その研究内容を論文にまとめ、学会発表形式で研究発表を行い、一連の研究の過程を体験することを目標とする。また、研究倫理に基づく適正な手続きを行い、研究者として求められる倫理的態度や行動について学習する。研究発表では、研究発表のための手続きや発表方法を実践的に学び、プレゼンテーション技能の向上を図る。また、他者の発表を聴くことで、異なる研究テーマや研究方法について共有し、研究に関する幅広い知見を得ることができるようになる。</p>	

評価法基準	研究論文作成：60% 研究発表用レジメ：20% 発表用パワーポイント：20%
教科書・参考書	教科書：山田 孝編：作業療法研究法 第2版。医学書院，2021
履修上の注意	研究を進めるにあたって、スケジュール管理は教員と相談の上、各自が責任を持って行うこと。討論の場では、積極的に意見を述べ、主体的に授業に参加すること。

科目名	作業療法研究卒業ゼミナールⅡ		担当教員	齋藤 久恵	
学科	作業療法学科		学年	4 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>「作業療法研究卒業ゼミナールⅡ」は、「作業療法研究卒業ゼミナールⅠ」に引き続き、作業療法諸領域における課題を、科学的に考察するために必要な研究方法について、より実践的に学習を進める。これまで継続的に検討してきた学生自身の研究テーマ・研究計画書に沿って、その研究を実践し、結果の考察等を行い、論文を作成し、発表を行う。これらの一連の研究過程の学びを通して課題解決能力を高めるための思考過程とその手法を学ぶと共に、研究論文として簡潔にまとめる知識及び効果的なプレゼンテーションの方法を身につけ、さらに、自己の研究課程や結果だけでなく、他者の研究内容を共有することで、幅広く知見を収集できることを目標とする。また、研究者として求められる倫理観や倫理的配慮に伴う適正な手続きの方法についても学習する。</p> <p>最終的に、学生が、本ゼミナールの学習を通して、卒業後も研究を実践し、科学的な視点から課題解決にあたり、社会に貢献できる素養を身につけることを期待する。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.研究計画に沿って研究を実施することができる</li> <li>2.研究内容を論文にまとめることができる</li> <li>3.研究内容を学会発表形式で発表することができる</li> <li>4.研究倫理に基づいて、適正な手続きを行うことができる</li> <li>5.科学的視点から、課題を解決することができる</li> </ol>

授業内容	
<p>作業療法研究卒業ゼミナールⅡは、「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」および「作業療法研究卒業ゼミナールⅠ」で学習した研究に関する知識と技能を活用して、研究計画に基づいて研究を実施し、その研究内容を論文にまとめ、学会発表形式で研究発表を行い、一連の研究の過程を体験することを目標とする。また、研究倫理に基づく適正な手続きを行い、研究者として求められる倫理的態度や行動について学習する。研究発表では、研究発表のための手続きや発表方法を実践的に学び、プレゼンテーション技能の向上を図る。また、他者の発表を聴くことで、異なる研究テーマや研究方法について共有し、研究に関する幅広い知見を得ることができるようにする。</p>	

評価法基準	<p>研究論文作成：60%</p> <p>研究発表用レジメ：20%</p> <p>発表用パワーポイント：20%</p>
教科書	教科書：山田 孝編：作業療法研究法.医学書院.2021
参考書	

履修上の注意	を進めるにあたって、スケジュール管理は教員と相談の上、各自が責任を持って行うこと。討論の場では、積極的に意見を述べ、主体的に授業に参加すること。
オフィスアワー	水曜日 12 時 10 分より 13 時

科目名	作業療法研究卒業ゼミナールⅡ		担当教員	秋元 美穂	
学科	作業療法学科		学年	4 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>「作業療法研究卒業ゼミナールⅡ」は、「作業療法研究卒業ゼミナールⅠ」に引き続き、作業療法諸領域における課題を、科学的に考察するために必要な研究方法について、より実践的に学習を進める。これまで継続的に検討してきた学生自身の研究テーマ・研究計画書に沿って、その研究を実践し、結果の考察等を行い、論文を作成し、発表を行う。これらの一連の研究過程の学びを通して課題解決能力を高めるための思考過程とその手法を学ぶと共に、研究論文として簡潔にまとめる知識及び効果的なプレゼンテーションの方法を身につけ、さらに、自己の研究課程や結果だけでなく、他者の研究内容を共有することで、幅広く知見を収集できることを目標とする。また、研究者として求められる倫理観や倫理的配慮に伴う適正な手続きの方法についても学習する。</p> <p>最終的に、学生が、本ゼミナールの学習を通して、卒業後も研究を実践し、科学的な視点から課題解決にあたり、社会に貢献できる素養を身につけることを期待する。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.研究計画に沿って研究を実施することができる</li> <li>2.研究内容を論文にまとめることができる</li> <li>3.研究内容を学会発表形式で発表することができる</li> <li>4.研究倫理に基づいて、適正な手続きを行うことができる</li> <li>5.科学的視点から、課題を解決することができる</li> </ol>

授業内容	
<p>作業療法研究卒業ゼミナールⅡは、「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」および「作業療法研究卒業ゼミナールⅠ」で学習した研究に関する知識と技能を活用して、研究計画に基づいて研究を実施し、その研究内容を論文にまとめ、学会発表形式で研究発表を行い、一連の研究の過程を体験することを目標とする。また、研究倫理に基づく適正な手続きを行い、研究者として求められる倫理的態度や行動について学習する。研究発表では、研究発表のための手続きや発表方法を実践的に学び、プレゼンテーション技能の向上を図る。また、他者の発表を聴くことで、異なる研究テーマや研究方法について共有し、研究に関する幅広い知見を得ることができるようにする。</p>	

評価法基準	<p>研究論文作成：60%</p> <p>研究発表用レジメ：20%</p> <p>発表用パワーポイント：20%</p>
教科書	「標準作業療法療学 作業療法研究法 第2版」山田 孝 医学書院 2018年7刷
履修上の注意	研究を進めるにあたって、スケジュール管理は教員と相談の上、各自が責任を持って行うこと。討論の場では、積極的に意見を述べ、主体的に授業に参加すること。
オフィスアワー	

科目名	作業療法研究卒業ゼミナールⅡ		担当教員	作業療法学科専任教員	
学科	作業療法学科		学年	4 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>「作業療法研究卒業ゼミナールⅡ」は、「作業療法研究卒業ゼミナールⅠ」に引き続き、作業療法諸領域における課題を、科学的に考察するために必要な研究方法について、より実践的に学習を進める。これまで継続的に検討してきた学生自身の研究テーマ・研究計画書に沿って、その研究を実践し、結果の考察等を行い、論文を作成し、発表を行う。これらの一連の研究過程の学びを通して課題解決能力を高めるための思考過程とその手法を学ぶと共に、研究論文として簡潔にまとめる知識及び効果的なプレゼンテーションの方法を身につけ、さらに、自己の研究課程や結果だけでなく、他者の研究内容を共有することで、幅広く知見を収集できることを目標とする。また、研究者として求められる倫理観や倫理的配慮に伴う適正な手続きの方法についても学習する。</p> <p>最終的に、学生が、本ゼミナールの学習を通して、卒業後も研究を実践し、科学的な視点から課題解決にあたり、社会に貢献できる素養を身につけることを期待する。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究計画に沿って研究を実施することができる</li> <li>2. 研究内容を論文にまとめることができる</li> <li>3. 研究内容を学会発表形式で発表することができる</li> <li>4. 研究倫理に基づいて、適正な手続きを行うことができる</li> <li>5. 科学的視点から、課題を解決することができる</li> </ol>

授業内容	
<p>作業療法研究卒業ゼミナールⅡは、「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」および「作業療法研究卒業ゼミナールⅠ」で学習した研究に関する知識と技能を活用して、研究計画に基づいて研究を実施し、その研究内容を論文にまとめ、学会発表形式で研究発表を行い、一連の研究の過程を体験することを目標とする。また、研究倫理に基づく適正な手続きを行い、研究者として求められる倫理的態度や行動について学習する。研究発表では、研究発表のための手続きや発表方法を実践的に学び、プレゼンテーション技能の向上を図る。また、他者の発表を聴くことで、異なる研究テーマや研究方法について共有し、研究に関する幅広い知見を得ることができるようになる。</p>	

評価法基準	<p>研究論文作成：60%</p> <p>研究発表用レジメ：20%</p> <p>発表用パワーポイント：20%</p>
教科書・参考書	教科書：鎌倉矩子他：作業療法士のための研究法入門。三輪書店，1997.
履修上の注意	研究を進めるにあたって、スケジュール管理は教員と相談の上、各自が責任を持って行うこと。討論の場では、積極的に意見を述べ、主体的に授業に参加すること。



科目名	作業療法研究卒業ゼミナールⅡ		担当教員	星 克司	
学科	作業療法学科		学年	4 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>「作業療法研究卒業ゼミナールⅡ」は、「作業療法研究卒業ゼミナールⅠ」に引き続き、作業療法諸領域における課題を、科学的に考察するために必要な研究方法について、より実践的に学習を進める。これまで継続的に検討してきた学生自身の研究テーマ・研究計画書に沿って、その研究を実践し、結果の考察等を行い、論文を作成し、発表を行う。これらの一連の研究過程の学びを通して課題解決能力を高めるための思考過程とその手法を学ぶと共に、研究論文として簡潔にまとめる知識及び効果的なプレゼンテーションの方法を身につけ、さらに、自己の研究課程や結果だけでなく、他者の研究内容を共有することで、幅広く知見を収集できることを目標とする。また、研究者として求められる倫理観や倫理的配慮に伴う適正な手続きの方法についても学習する。</p> <p>最終的に、学生が、本ゼミナールの学習を通して、卒業後も研究を実践し、科学的な視点から課題解決にあたり、社会に貢献できる素養を身につけることを期待する。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究計画に沿って研究を実施することができる</li> <li>2. 研究内容を論文にまとめることができる</li> <li>3. 研究内容を学会発表形式で発表することができる</li> <li>4. 研究倫理に基づいて、適正な手続きを行うことができる</li> <li>5. 科学的視点から、課題を解決することができる</li> </ol>

授業内容	
<p>作業療法研究卒業ゼミナールⅡは、「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」および「作業療法研究卒業ゼミナールⅠ」で学習した研究に関する知識と技能を活用して、研究計画に基づいて研究を実施し、その研究内容を論文にまとめ、学会発表形式で研究発表を行い、一連の研究の過程を体験することを目標とする。また、研究倫理に基づく適正な手続きを行い、研究者として求められる倫理的態度や行動について学習する。研究発表では、研究発表のための手続きや発表方法を実践的に学び、プレゼンテーション技能の向上を図る。また、他者の発表を聴くことで、異なる研究テーマや研究方法について共有し、研究に関する幅広い知見を得ることができるようにする。</p>	

評価法基準	<p>研究論文作成：60%</p> <p>研究発表用レジメ：20%</p> <p>発表用パワーポイント：20%</p>
教科書・参考書	<p>教科書：山田 孝編：作業療法研究法 第2版. 医学書院, 2021</p> <p>参考書：鎌倉矩子他：作業療法士のための研究法入門. 三輪書店, 1997.</p>
履修上の注意	<p>研究を進めるにあたって、スケジュール管理は教員と相談の上、各自が責任を持って行うこと。討論の場では、積極的に意見を述べ、主体的に授業に参加すること。</p>
オフィスアワー	





科目名	作業療法研究卒業ゼミナールⅡ		担当教員	作業療法学科専任教員	
学科	作業療法学科		学年	4 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>「作業療法研究卒業ゼミナールⅡ」は、「作業療法研究卒業ゼミナールⅠ」に引き続き、作業療法諸領域における課題を、科学的に考察するために必要な研究方法について、より実践的に学習を進める。これまで継続的に検討してきた学生自身の研究テーマ・研究計画書に沿って、その研究を実践し、結果の考察等を行い、論文を作成し、発表を行う。これらの一連の研究過程の学びを通して課題解決能力を高めるための思考過程とその手法を学ぶと共に、研究論文として簡潔にまとめる知識及び効果的なプレゼンテーションの方法を身につけ、さらに、自己の研究課程や結果だけでなく、他者の研究内容を共有することで、幅広く知見を収集できることを目標とする。また、研究者として求められる倫理観や倫理的配慮に伴う適正な手続きの方法についても学習する。</p> <p>最終的に、学生が、本ゼミナールの学習を通して、卒業後も研究を実践し、科学的な視点から課題解決にあたり、社会に貢献できる素養を身につけることを期待する。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究計画に沿って研究を実施することができる</li> <li>2. 研究内容を論文にまとめることができる</li> <li>3. 研究内容を学会発表形式で発表することができる</li> <li>4. 研究倫理に基づいて、適正な手続きを行うことができる</li> <li>5. 科学的視点から、課題を解決することができる</li> </ol>

授業内容	
<p>作業療法研究卒業ゼミナールⅡは、「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」および「作業療法研究卒業ゼミナールⅠ」で学習した研究に関する知識と技能を活用して、研究計画に基づいて研究を実施し、その研究内容を論文にまとめ、学会発表形式で研究発表を行い、一連の研究の過程を体験することを目標とする。また、研究倫理に基づく適正な手続きを行い、研究者として求められる倫理的態度や行動について学習する。研究発表では、研究発表のための手続きや発表方法を実践的に学び、プレゼンテーション技能の向上を図る。また、他者の発表を聴くことで、異なる研究テーマや研究方法について共有し、研究に関する幅広い知見を得ることができるようになる。</p>	

評価法基準	<p>研究論文作成：60%</p> <p>研究発表用レジメ：20%</p> <p>発表用パワーポイント：20%</p>
教科書・参考書	<p>教科書：教科書：山田孝編：標準作業療法学専門分野 作業療法研究第2版. 医学書院,</p>
履修上の注意	<p>研究を進めるにあたって、スケジュール管理は教員と相談の上、各自が責任を持って行うこと。討論の場では、積極的に意見を述べ、主体的に授業に参加すること。</p>



科目名	作業療法研究卒業ゼミナールⅡ		担当教員	里村 恵子	
学科	作業療法学科		学年	4 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>「作業療法研究卒業ゼミナールⅡ」は、「作業療法研究卒業ゼミナールⅠ」に引き続き、作業療法諸領域における課題を、科学的に考察するために必要な研究方法について、より実践的に学習を進める。これまで継続的に検討してきた学生自身の研究テーマ・研究計画書に沿って、その研究を実践し、結果の考察等を行い、論文を作成し、発表を行う。これらの一連の研究過程の学びを通して課題解決能力を高めるための思考過程とその手法を学ぶと共に、研究論文として簡潔にまとめる知識及び効果的なプレゼンテーションの方法を身につけ、さらに、自己の研究課程や結果だけでなく、他者の研究内容を共有することで、幅広く知見を収集できることを目標とする。また、研究者として求められる倫理観や倫理的配慮に伴う適正な手続きの方法についても学習する。</p> <p>最終的に、学生が、本ゼミナールの学習を通して、卒業後も研究を実践し、科学的な視点から課題解決にあたり、社会に貢献できる素養を身につけることを期待する。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.研究計画に沿って研究を実施することができる</li> <li>2.研究内容を論文にまとめることができる</li> <li>3.研究内容を学会発表形式で発表することができる</li> <li>4.研究倫理に基づいて、適正な手続きを行うことができる</li> <li>5.科学的視点から、課題を解決することができる</li> </ol>

授業内容	
<p>作業療法研究卒業ゼミナールⅡは、「作業療法研究基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」および「作業療法研究卒業ゼミナールⅠ」で学習した研究に関する知識と技能を活用して、研究計画に基づいて研究を実施し、その研究内容を論文にまとめ、学会発表形式で研究発表を行い、一連の研究の過程を体験することを目標とする。また、研究倫理に基づく適正な手続きを行い、研究者として求められる倫理的態度や行動について学習する。研究発表では、研究発表のための手続きや発表方法を実践的に学び、プレゼンテーション技能の向上を図る。また、他者の発表を聴くことで、異なる研究テーマや研究方法について共有し、研究に関する幅広い知見を得ることができるようにする。</p>	

評価法基準	<p>研究論文作成：60%</p> <p>研究発表用レジメ：20%</p> <p>発表用パワーポイント：20%</p>
教科書	教科書：山田 孝編：作業療法研究法.医学書院.2021
参考書	

履修上の注意	を進めるにあたって、スケジュール管理は教員と相談の上、各自が責任を持って行うこと。討論の場では、積極的に意見を述べ、主体的に授業に参加すること。
オフィスアワー	水曜日 12 時 10 分より 13 時